

望ましい学校規模のパターンと児童生徒数の推計について

●印：各パターン内の全ての学区において、望ましい学級数や人数に該当するもの

			望ましい規模			望ましい規模			小・中いずれも望ましい規模のパターン		他のデータにより推計した場合		
中学校			学級数	学級人数	ページ	小学校		学級数	学級人数	ページ	2060（R42） 将来展望人口による推計 （現在使用）	2060（R42） 基準モデル人口による推計	2026（R8） 住民基本台帳による短期推計
喜多方	中	A（現行）		●	①	P1	小	①（現行）			P2～3		
					②		小	①（現行）			P2～3		
					③		小	①（現行）			P2～3		
喜多方	中	B		●	①	P4	小	①		●	P5		
							小	②		●	P6		
							小	③	●	●	P7		
					②	P4	小	①			P8		
							小	②			P9		
							小	③	●	●	P10		
喜多方	中	C	●	●	①	P11	小	①			P12		
							小	②			P13		
							小	③	●	●	P14	●	●
					②	P11	小	①		●	P15		
							小	②	●	●	P16	●	●
喜多方	中	D	●	●	①	P17	小	①			P18		
							小	②			P19		
							小	③	●	●	P20	●	●
					②	P17	小	①		●	P21		
							小	②		●	P22		
							小	③	●	●	P23	●	●
喜多方	中	E	●	●	①	P24	小	①		●	P25		
							小	②	●	●	P26	●	●
							小	③	●	●	P27	●	●
							小	④	●	●	P28	●	●
熱塩加納	中	A（現行）		●	①	P29	小	①（現行）			P30		
							小	②			P31		
塩川	中	A（現行）		●	①	P32	小	①（現行）			P33		
								②		●	P34		
								③	●	●	P35		●
山都	中	A（現行）		●	①	P36	小	①（現行）		●	P37		
高郷	中	A（現行）			①	P38	小	①（現行）			P39		

(中学校の地域設定(学区)のパターン)

○中学校区－喜多方地区－中学校パターンC

パターンC 第一中と第三中を統合(同一学区)とし、第二中は存続する。

喜多方地区について、2つの中学校区に再編する。

① 第一・第三中学校区(第二小、豊川小、慶徳小)(第三小、関柴小、熊倉小)【緑色】

② 第二中学校区(第一小、松山小、上三宮小)【青色】

・将来(2060年)の児童生徒数、学級数等

中喜C①	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第一・第三中学校区	将来展望人口	367	122	12	4.0	30.5
	基準モデル人口	169	56	6	2.0	28.0
	差	▲198	▲66	▲6	▲2.0	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○
-	○

第一小学校区で第三中へ進学している児童は第二中へ変更。2060年は人数を現在の人数で按分し算出している。

中喜C②	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第二中学校区	将来展望人口	244	81	9	3.0	27.0
	基準モデル人口	112	37	6	2.0	18.5
	差	▲132	▲44	▲3	▲1.0	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○
-	○

・住民基本台帳から推計した短期的な推計(2026年)

中喜C①	推計別	2026年(R8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第一・第三中学校区	住基台帳	365	122	12	4.0	30.5

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○

※ 第一小学校区で第三中へ進学している児童は第二中へ変更。2060年は人数を現在の人数で按分し算出している。

中喜C②	推計別	2026年(R8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第二中学校区	住基台帳	289	96	10	3.3	32.0

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○

シミュレーションP11

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンCの小学校のパターン)

●中学校区ー喜多方地区ー中学校パターンC①ー小学校パターン③

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中喜C①小③	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第二・豊川・慶徳小学校区	将来展望人口	425	71	18	3.0	23.7	○	○
	基準モデル人口	196	33	8	1.3	33.0	-	○
	差	▲ 229	▲ 38	▲ 10	▲ 1.7			
第三・関柴・熊倉小学校区	将来展望人口	270	45	12	2.0	22.5	○	○
	基準モデル人口	124	21	6	1.0	21.0	-	○
	差	▲ 146	▲ 24	▲ 6	▲ 1.0			

※第二・豊川・慶徳小学校区の下段について、1年生は16人～17人の2学級となる。

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中喜C①小③	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第二・豊川・慶徳小学校区	住基台帳	454	76	18	3.0	25.3	○	○
第三・関柴・熊倉小学校区	住基台帳	204	34	12	2.0	17.0	○	○

シミュレーションP14

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンCの小学校のパターン)

●中学校区－喜多方地区－中学校パターンC②－小学校パターン②

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中喜C②小②	推計別	2060年（R42年）				
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第一・松山・上三宮小学校区	将来展望人口	489	82	18	3.0	27.3
	基準モデル人口	225	38	12	2.0	19.0
	差	▲ 264	▲ 44	▲ 6	▲ 1.0	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○
○	○

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中喜C②小②	推計別	2026年（R 8）				
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第一・松山・上三宮小学校区	住基台帳	553	92	20	3.3	30.6

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○

第一・松山・上三宮小学校区は、1、2年生は23人の4学級となる。

シミュレーションP16

(中学校の地域設定(学区)のパターン)

○中学校区一喜多方地区一中学校パターンD

パターンD 第二中と第三中を統合(同一学区)とし、第一中は存続する。

喜多方地区について、2つの中学校区に再編する。

① 第二・第三中学校区(第一小、松山小、上三宮小)(第三小、関柴小、熊倉小)【青色】

② 第一中学校区(第二小、豊川小、慶徳小)【緑色】

・将来(2060年)の児童生徒数、学級数等

中喜D①	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第二・第三中学校区	将来展望人口	393	131	15	5.0	26.2
	基準モデル人口	181	60	6	2.0	30.0
	差	▲212	▲71	▲9	▲3.0	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○
-	○

第一小学校区で第三中へ進学している児童は第二中へ変更。2060年は人数を現在の人数で按分し算出している。

中喜D②	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第一中学校区	将来展望人口	218	73	9	3.0	24.3
	基準モデル人口	100	33	4	1.3	33.0
	差	▲118	▲40	▲5	▲1.7	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○
-	○

基準モデル人口の場合、1年生は16人~17人の2学級となる。

・住民基本台帳から推計した短期的な推計(2026年)

中喜D①	推計別	2026年(R8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第二・第三中学校区	住基台帳	424	141	15	5.0	28.2

※ 第一小学校区で第三中へ進学している児童は第二中へ変更。2060年の人数を現在の人数で按分し算出している。

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○

中喜D②	推計別	2026年(R8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第一中学校区	住基台帳	230	77	9	3.0	25.7

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○

シミュレーションP17

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンDの小学校のパターン)

●中学校区ー喜多方地区ー中学校パターンD①ー小学校パターン③

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中喜D①小③	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第一・松山・上三宮小学校区	将来展望人口	489	82	18	3.0	27.3	○	○
	基準モデル人口	225	38	12	2.0	19.0	○	○
	差	▲ 264	▲ 44	▲ 6	▲ 1.0			
第三・関柴・熊倉小学校区	将来展望人口	270	45	12	2.0	22.5	○	○
	基準モデル人口	124	21	6	1.0	21.0	-	○
	差	▲ 146	▲ 24	▲ 6	▲ 1.0			

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中喜D①小③	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第一・松山・上三宮小学校区	住基台帳	553	92	20	3.3	30.6	○	○
第三・関柴・熊倉小学校区	住基台帳	204	34	12	2.0	17.0	○	○

第一・松山・上三宮小学校区は、1、2年生は23人の4学級となる。

シミュレーションP20

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンDの小学校のパターン)

●中学校区ー喜多方地区ー中学校パターンD②ー小学校パターン③

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中喜D②小③	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第二・豊川・慶徳小学校区	将来展望人口	425	71	18	3.0	23.7	○	○
	基準モデル人口	196	33	8	1.3	33.0	-	○
	差	▲ 229	▲ 38	▲ 10	▲ 1.7			

※第二・豊川・慶徳小学校区の下段について、1年生は16人～17人の2学級となる。

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中喜D②小③	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第二・豊川・慶徳小学校区	住基台帳	454	76	18	3.0	25.3	○	○

シミュレーションP23

(中学校の地域設定(学区)のパターン)

○中学校区ー喜多方地区ー中学校パターンE

パターンE 喜多方地区の3つの中学校を統合(同一学区)とし、1つの中学校区に再編する。

① 第一・第二・第三中学校区

(第一小、第二小、松山小、上三宮小、第三小、関柴小、熊倉小、豊川小、慶徳小)

・将来(2060年)の児童生徒数、学級数等

中喜E①	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第一・第二・第三中学校区	将来展望人口	611	204	21	7.0	29.1
	基準モデル人口	281	94	10	3.3	31.3
	差	▲ 330	▲ 110	▲ 11	▲ 3.7	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○
○	○

下段について、1年生は23人~24人の4学級となる。

・住民基本台帳から推計した短期的な推計(2026年)

中喜E①	推計別	2026年(R 8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
第一・第二・第三中学校区	住基台帳	654	218	21	7.0	31.1

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○

シミュレーションP24

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンEの小学校のパターン)

●中学校区ー喜多方地区ー中学校パターンE①ー小学校パターン②

将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中喜E①小②	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第一小学校区	将来展望人口	322	54	12	2.0	27.0	○	○
	基準モデル人口	148	25	6	1.0	25.0	-	○
	差	▲ 174	▲ 29	▲ 6	▲ 1.0			
第二小学校区	将来展望人口	260	43	12	2.0	21.5	○	○
	基準モデル人口	120	20	6	1.0	20.0	-	○
	差	▲ 140	▲ 23	▲ 6	▲ 1.0			
関柴・熊倉・豊川・慶徳小学校区	将来展望人口	347	58	12	2.0	29.0	○	○
	基準モデル人口	160	27	6	1.0	27.0	-	○
	差	▲ 187	▲ 31	▲ 6	▲ 1.0			
松山・上三宮・第三小学校区	将来展望人口	255	43	12	2.0	21.5	○	○
	基準モデル人口	117	20	6	1.0	20.0	-	○
	差	▲ 138	▲ 23	▲ 6	▲ 1.0			

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中喜E①小②	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第一小	住基台帳	392	65	14	2.3	32.5	○	○
第二小	住基台帳	331	55	12	2.0	27.5	○	○
関柴・熊倉・豊川・慶徳小学校区	住基台帳	268	45	12	2.0	22.5	○	○
松山・上三宮・第三小学校区	住基台帳	220	37	12	2.0	18.5	○	○

第一小学校は、1、2年生は21人～22人の3学級となる。

シミュレーションP26

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンEの小学校のパターン)

●中学校区ー喜多方地区ー中学校パターンE①ー小学校パターン③

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中喜E①小③	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第二・豊川・慶徳小学校区	将来展望人口	425	71	18	3.0	23.7	○	○
	基準モデル人口	196	33	8	1.3	33.0	-	○
	差	▲ 229	▲ 38	▲ 10	▲ 1.7			
第一・松山・上三宮小学校区	将来展望人口	489	82	18	3.0	27.3	○	○
	基準モデル人口	225	38	12	2.0	19.0	○	○
	差	▲ 264	▲ 44	▲ 6	▲ 1.0			
第三・関柴・熊倉小学校区	将来展望人口	270	45	12	2.0	22.5	○	○
	基準モデル人口	124	21	6	1.0	21.0	-	○
	差	▲ 146	▲ 24	▲ 6	▲ 1.0			

※第二・豊川・慶徳小学校区の下段について、1年生は16人～17人の2学級となる。

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中喜E①小③	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第二・豊川・慶徳小学校区	住基台帳	454	76	18	3.0	25.3	○	○
第一・松山・上三宮小学校区	住基台帳	553	92	20	3.3	30.6	○	○
第三・関柴・熊倉小学校区	住基台帳	204	34	12	2.0	17.0	○	○

第一・松山・上三宮小学校区は、1、2年生は23人の4学級となる。

シミュレーションP27

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンEの小学校のパターン)

●中学校区ー喜多方地区ー中学校パターンE①ー小学校パターン④

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中喜E①小④	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第二・関柴・熊倉・豊川・慶徳小学校区	将来展望人口	607	101	24	4.0	25.3	○	○
	基準モデル人口	280	47	12	2.0	23.5	○	○
	差	▲ 327	▲ 54	▲ 12	▲ 2.0			
第一・松山・上三宮・第三小学校区	将来展望人口	577	96	20	3.3	32.0	○	○
	基準モデル人口	265	44	12	2.0	22.0	○	○
	差	▲ 312	▲ 52	▲ 8	▲ 1.3			

※ 第一・松山・上三宮・第三小学校区の上段について、1、2年生は24人の4学級となる。

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中喜E①小④	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
第二・関柴・熊倉・豊川・慶徳小学校区	住基台帳	599	100	24	4.0	25.0	○	○
第一・松山・上三宮・第三小学校区	住基台帳	612	102	24	4.0	25.5	○	○

シミュレーションP28

(中学校の地域設定(学区)のパターン)

○中学校区ー熱塩加納地区ー中学校パターンA(現行)

(2) 熱塩加納地区

パターンA(現行) 会北中を存続する。

① 会北中学校区(熱塩小、加納小) 【黄色】

・将来(2060年)の児童生徒数、学級数等

中熱A①	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
会北中学校区	将来展望人口	50	17	3	1.0	17.0
	基準モデル人口	23	8	3	1.0	8.0
	差	▲ 27	▲ 9	0	0.0	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	○
-	-

・住民基本台帳から推計した短期的な推計(2026年)

中熱A①	推計別	2026年(R 8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
会北中学校区	住基台帳	56	19	3	1.0	19.0

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	○

シミュレーションP29

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンA（現行）の小学校のパターン)

●中学校区－熱塩加納地区－中学校パターンA（現行）①－小学校パターン②

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中熱A①小②	推計別	2060年（R42年）				
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
熱塩・加納小学校区	将来展望人口	92	15	6	1.0	15.0
	基準モデル人口	42	7	4	0.7	7人～14人
	差	▲ 50	▲ 8	▲ 2	▲ 0.3	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	-
-	-

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中熱A①小②	推計別	2026年（R 8）				
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
熱塩・加納小学校区	住基台帳	64	11	6	1.0	11.0

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	-

シミュレーションP31

(中学校の地域設定(学区)のパターン)

○中学校区ー塩川地区ー中学校パターンA(現行)

・将来(2060年)の児童生徒数、学級数等

中塩A①	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
塩川中学校区	将来展望人口	195	65	7	2.3	32.5
	基準モデル人口	90	30	3	1.0	30.0
	差	▲ 105	▲ 35	▲ 4	▲ 1.3	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	○
-	○

・住民基本台帳から推計した短期的な推計(2026年)

中塩A①	推計別	2026年(R8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
塩川中学校区	住基台帳	278	93	10	3.3	31.0

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
○	○

※1年生は23人~24人の4学級となる。

シミュレーションP32

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンA（現行）の小学校のパターン）

●中学校区一塩川地区－中学校パターンA（現行）①－小学校パターン③

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中塩A①小③	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
堂島・塩川・姥堂・駒形小学校区	将来展望人口	388	65	14	2.3	32.5	○	○
	基準モデル人口	179	30	6	1.0	30.0	-	○
	差	▲ 209	▲ 35	▲ 8	▲ 1.3			

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中塩A①小③	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
堂島・塩川・姥堂・駒形小学校区	住基台帳	548	91	20	3.3	30.3	○	○

1、2年生は22人～23人の4学級となる。

シミュレーションP35

(中学校の地域設定(学区)のパターン)

○中学校区ー山都地区ー中学校パターンA(現行)

・将来(2060年)の児童生徒数、学級数等

中山A①	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
山都中学校区	将来展望人口	55	18	3	1.0	18.0
	基準モデル人口	25	8	3	1.0	8.0
	差	▲ 30	▲ 10	0	0.0	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	○
-	-

・住民基本台帳から推計した短期的な推計(2026年)

中山A①	推計別	2026年(R8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
山都中学校区	住基台帳	51	17	3	1.0	17.0

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	○

シミュレーションP36

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンA（現行）の小学校のパターン）

●中学校区ー山都地区ー中学校パターンAー小学校パターン①（現行）

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中山A①小①	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
山都小学校区	将来展望人口	109	18	6	1.0	18.0	-	○
	基準モデル人口	50	8	4	0.7	8人～16人	-	-
	差	▲ 59	▲ 10	▲ 2	▲ 0.3			

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中山A①小①	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
山都小学校区	住基台帳	61	10	6	1.0	10.0	-	-

シミュレーションP37

(中学校の地域設定(学区)のパターン)

○中学校区ー高郷地区ー中学校パターンA(現行)

・将来(2060年)の児童生徒数、学級数等

中高A①	推計別	2060年(R42)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
高郷中学校 区	将来展望人口	36	12	3	1.0	12.0
	基準モデル人口	17	6	3	1.0	6.0
	差	▲ 19	▲ 6	0	0.0	

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	-
-	-

・住民基本台帳から推計した短期的な推計(2026年)

中高A①	推計別	2026年(R 8)				
		生徒数	各学年の平均生徒数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数
高郷中学校 区	住基台帳	34	11	3	1.0	11.0

望ましい学校規模	
学級数	学級の人数
-	-

シミュレーションP38

(小学校：中学校の地域設定（学区）パターンA（現行）の小学校のパターン）

●中学校区－高郷地区－中学校パターンA－小学校パターン①（現行）

・将来（2060年）の児童生徒数、学級数等

中高A①小①	推計別	2060年（R42年）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
高郷小学校区	将来展望人口	70	12	6	1.0	12.0	-	-
	基準モデル人口	32	5	4	0.7	5人～10人	-	-
	差	▲ 38	▲ 7	▲ 2	▲ 0.3			

・住民基本台帳から推計した短期的な推計（2026年）

中高A①小①	推計別	2026年（R 8）					望ましい学校規模	
		児童数	各学年の平均児童数	学級数	各学年の平均学級数	学級の人数	学級数	学級の人数
高郷小学校区	住基台帳	44	7	4	0.7	7人～14人	-	-

シミュレーションP39